



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida



イマジン ローター

RI会長 ジェニファー E. ジョーンズ

第2570地区ガバナー 村田 貴紀

第3グループ
ガバナー補佐 白井 威

地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう!

第3036例会 2022. 10. 26

—— 経済と地域社会の発展月間 ——

天候 晴 (NO. 59-17)

会長 矢島高明 幹事 市川 昭

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 五十嵐君、木川(-)君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 矢島高明会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・卓話 加涌章吾様



【M U】

9/28 (第3G) 矢島(尚)君
市川君

【会長報告】

昨日は青年会議所(JC)の「じゃがいもゴルフ大会」に私も含めJCOBメンバーも多く参加させて頂き親睦を深める事が出来ました。

30年間出席100%の対象者に地区より表彰状。中里昌平、半田武会員にお渡しします(拍手)。

【幹事報告】

日高RC創立40周年式典への出欠を至急ご提出下さい。第6回理事会の案内を配付。11月のプログラムは後日再配付します。

※地区大会記念品をお持ち帰り下さい。

【委員会報告】

◎クラブ戦略計画委員会 中里(昌)君

私がG補佐の時、好評だった講演を活字にした冊子を炉辺会談用に再度印刷しました。当時、新井実行委員長、神田(康)、矢島(巖)副委員長と苦心して作りました。表紙絵は吉田(行)会員です。講師は山形・鶴岡の般若寺ご住職でRIの会長代理や役員をされてきた異色のパストガバナー。RCのウラの知識を得て頂くという意味でも皆さんに読んで頂きたいと思います。

【出席報告】無届欠席0 細田(吉)出席向上委員

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
70名	5名	60名	85.71%

【ロータリーの友】川口雑誌委員長

「10月号」横組P4、10月24日は「世界ポリオデー」。ポリオ常在国は現在パキスタンとアフガニスタン。各地域でのポリオデーの写真を募集中。P16には、ポリオ撲滅は社会奉仕に近いとのやや批判的な記事も載っています。縦組P4、「デジタル時代」について書いた人は30歳。面白い内容ですのでおすすめです。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・30年無欠席で表彰されました。 中里(昌)君
- ・結婚記念お祝い有難うございました。小谷野(正)君
- ・誕生日お祝い有難うございました。 大木君
- ・加涌理事長ご苦勞様です。卓話有難うございます。 矢島(巖)君、田辺君、加藤君
- ・大学4年砲丸娘、栃木国体準優勝でした。頑張ります。 大野(康)君

本日計13,000円、累計額264,000円。

◎9日例会当番は小谷野(正)、柏木会員です。

【卓話】

講師紹介 加藤職業奉仕委員長

1988年、飯能市生まれ。富士見保育所、美杉台小学校、西武学園文理中学、高等学校を卒業後法政大学に入学。2011年、工学部生産機能学科を卒業、筑波大学大学院に進学。13年、人間総合科学研究科を卒業。専攻はフロンティア医科学、医科学修士。同年、「(株)日立ソリューションズ」

入社。16年、ご実家の「鍋屋プロパン(株)」入社。17年、同社代表取締役役に就任。同年、JC入会。各委員会委員長を歴任後、21年、副理事長。22年、理事長を務めておられます。

飯能青年会議所 今年度の取組みと50周年に向けて

公益社団法人 飯能青年会議所 理事長

加 涌 章 吾 様

貴重な卓話のお時間を頂き有難うございます。IMの貴重な講演にもお招き頂き誠に有難うございました。昨日は飯能JC OB合同じゃがいもゴルフ大会にも多くの方々にお越し頂き重ねて御礼申し上げます。飯能JC第49代理事長の職をお預かりしております加涌省吾と申します。現在34歳。事務所のある栄町で生まれ、美杉台が出来始めた3歳の時に美杉台に引越しました。妻と2人の子どもと暮らしています。義父は東京城西RCのロータリアンです。中高と剣道部で三段です。ガス屋ですが水道工事、不動産業もしています。JCには5年前に入会し、広報誌制作や会員拡大の委員会で主に活動しました。

今年度「探究心～愛情をもって地域と向き合う」というスローガンを掲げました。「探究心」物事の真の姿を探り見極めようとする心です。新型コロナウイルスが蔓延する中、「ニューノーマル」が言われ、変化が激しく正解が分からない時代。しかし、いつの時代も一番大事なことは同じ、真理は一緒だと思っておりますので、目の前の事に右往左往せず、本当に大事なものは何なのか見極めていこうという思いで言葉を選びました。また、集まって会議をする場が少なくなっている中、人の心に寄り添う活動を、という事で「愛情をもって」としました。

● ITとまち 融合の探究

行政でもDXが推進され、GIGAスクール構想の中でタブレットが子ども一人ひとりに配られ学習が進められている状況。しかしながら日本はITリテラシー度が低く、中小企業のDX化は遅れており、マイナンバーカード普及率も50%程度。飯能JCとしてはITを広めるだけでなく、市民一人ひとりがITの恩恵をより受け易い支援をしていこうと活動してきました。

3月例会では県警サイバー犯罪対策課の講師から如何にして身を守るかを伺いました。7月、野中氏の講演「今さら聞けないDXのはじめの一步」には多くの企業の方にご参加頂き、ディスカッションしながら進めました。会議所との協賛事業として、先週、柿内氏の講演会「ITで解決!! どうしたら会社は良くなるの?」を開催。コミュニケーションツールとしての「デジスポ」の展示も行いました。

● お金とキャリア

男性は4人に1人、女性は2人に1人が90歳以上生きる時代。「老後2000万円問題」が世間を騒がせましたが、学校では「お金」の事は教わらず、「お金」の勉強をしてきた人は日本で7.2%、米国21%という報告があります。「お金」の勉強は急務だと感じます。

5月例会で講演会「一番初めの金融教育」を開



催し家庭内教育にフォーカスしました。会場に収まり切れない方はZoom参加となりました。9月、主催事業：田内氏講演「お金って何? これからの社会を生き抜くために」市民会館。飯信様から多くの協賛と職員派遣を頂いて子ども向けのワークショップを実施。飯能市、日高市の教育長も出席され、働いてお金(オリジナル紙幣)を貰う実体験ブースには100人以上のお子さんに来て頂きました。

● 郷土愛の醸成

イベントが中止となり、市民と市民の心をぶつける場が失われ、学生はマスクでウェブ授業。人との距離が離れてしまうような時代を危惧しております。若い人達に飯能市に住み続けてもらえるような事も必要だと思っています。地元に興味をもってもらえる施策は何か?

2月、「飯能vs日高 どっちが凄いいDE SHOW!!」というVtuberを使った番組を制作、発信しました。先月、「巾着田曼殊沙華まつり」では新たな魅力として写真スポットの設置、「曼殊沙華バルーン」の配布(「みどりの基金」に募金)を行いました。3年振りの「飯能まつり」では多くの設営を担当。“共催”を意識し、市民団体50団体位と一緒に祭りを盛り上げて頂きます。今年は屋台が出ませんが「来て良かった」と言ってもらえるよう準備を進めているところです。

● PR

広報誌「はんなーら」全戸配布は先輩方のご尽力のお蔭です。今年は「月光堂カメラ店」細田君が委員長。新しい試みで「プレゼント企画」を組んだり、駅頭での直接配布を行いました。事業やメンバー紹介の動画も多く作り、YouTube等、いろいろなツールを使ってPRを行っています。

● 来年の50周年に向けて

(1)入会歴の浅いメンバーへの研修、(2)ネットワーク強化、(3)長く活躍するメンバーの発掘。3つの視点で準備中。「(有)丸星クリーニング」浅見君が第50代理事長、「税理士法人アスタクス」山口君が専務理事予定者です。

(1)飯能JCとはそもそもどういった団体なのかを若いメンバーにも知って頂くため、初代理事長・細田吉春様より“飯能JCの創始の精神”について魂を込めてお話頂きました。JC以外の活動にも積極的に参加しようと、成人式のお手伝い、ウクライナ人道支援募金、ツーデーマーチ無人販売所等、試行錯誤しながら行って参りました。(2)OBとの交流:賀詞交歓会は中止。4月「新緑の集い」開催。多くの先輩方にご来場頂きました。「夏季総会」次年度役員紹介では今回選挙ポスターのようなものを作り見て頂きました。(3)会員拡大:1、2年の活動で卒業してしまうメンバーも大事ですが、5年以上しっかりと活動して卒業される方が我々に対して力になると思っています。今年は7名入会、平均年齢は34歳となり、5年以上活躍出来るメンバーが増えて参りました。組織を強靱化し、50周年に向けて「明るい豊かな住みよい社会」を実現するために、今後とも活動して参ります。

ご清聴有難うございました。